

# 競技・運営上の確認事項

- 1 本大会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、別に示されるガイドラインに沿って運営される。
- 2 競技は、2020年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。  
リベロ・プレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。
- 3 開館時刻 第1試合のチーム 8：40（参観者受付 9：15～ 9：30）  
第2試合のチーム 10：40（参観者受付 11：15～11：30）  
第3試合のチーム （参観者受付 13：15～13：30）
- 4 受付について  
【提出物】参加料，事前プログラム代，エントリー確認用紙，構成メンバー表（4枚），  
健康観察表（C票，D票）  
【時間】第1試合のチーム 8：40～9：00 第2試合のチーム 10：40～11：00  
健康状態の確認のため，入館後直ちに受付をすること。
- 5 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，マスクを着用すること。ただし，フロア内に限り，試合のあるチームの生徒及びベンチスタッフはマスクを外してもよい。
- 6 ベンチ及びフロアには有効に登録された監督，コーチ，マネージャー及び選手以外は入ることができない。ただし，プロトコール前は，当該校の中学生の入場も認める。
- 7 試合前のチームは，コート系の許可が出てから自由にコートやネットを使って練習できる。（第1試合のチームは9：00以降）ただし，他のコートが試合中の場合はパス程度の練習とする。プロトコール5分前からはコートチェックを行うため，練習をやめてコートから出ること。
- 8 監督，コーチ，マネージャーマークは左胸部につけ，監督，コーチは統一された服装でベンチに入ること。チームキャプテンは，胸の番号の下に規定のマークを付けること。また，身体へのマジック等での書き込みは禁止する。
- 9 試合開始の予定時刻を定めているが，第2試合以降は予定した時刻より遅れることがあっても早く開始されることはない。プロトコールはプログラム記載時刻の11分前とする。各試合とも最長44分間，最短30分間の合同練習時間を確保する。練習終了5分後にプロトコールを行う。
- 10 公式練習は6分間とする。合同で公式練習を実施しない場合は，各チーム3分間とする。
- 11 試合開始，終了時の握手は行わず，あいさつのみとする。
- 12 控え選手は，ベンチに着席すること。ウォームアップエリアは必要な選手のみ使用すること。また，意図的な応援は行わない。
- 13 試合終了後，監督は各コートに用意された消毒液と布巾を用いて自チームが使用したベンチの消毒をすること。
- 14 全ての試合のスコアラー，アシスタントスコアラーは胆江地区のバレーボール部員が行う。  
1日目の第1試合と，2日目の全ての試合の生徒役員は胆江地区のバレーボール部員が行う。  
1日目の第2試合以降は前の試合の敗者チームから，点示係（2名），ラインジャッジ（4名）を出すこととする。

## 審判上の確認事項

- 1 本大会は、2020年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則による。リベロ・プレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。
- 2 リベロとの交代については、サイドライン上でいったん立ち止まってから交代すること。
- 3 ボールデッド中においては、ネット越しに相手に対する発声は行わない。
- 4 サブスティチューションは、ナンバーカードを用いてのクイックサブスティチューションで行う。（カードの表示は、エリアに入るときに全体にわかるように高く掲げて入場すること）
- 5 いかなる場合でも、試合を遅らせることのないように注意する。  
（タイムアウト終了後コートへの戻りが遅い、靴紐の直し、選手交代の取り消しなど遅延行為として判断される）
  - 1 ボールであっても、ボールデッド時間は8秒で運営できるようチームも協力すること。
    - ①ボールデッドになったならば、サーバーはサブエリアに移動すること。
    - ②ボールデッドになったならば、速やかにボールをサーバーに渡すこと。
    - ③コート外へボールが出た場合は、一人でボール拾いに行くこと。
- 6 ゲームキャプテンは質問する権利を有するが、抗議をすることはできない。また、他の競技参加者は質問する権利を有していない。
- 7 スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。また、コート上の選手がベンチのスタッフや交代競技者とタッチ（ハイタッチなど）を行わないこと。ステージ1→ステージ2へと制裁の対象となる。（相手チームに向かってのガッツポーズ等も含まれる）
- 8 タイムアウトの要求は、ベンチから立ち上がりコールしながらオフィシャルハンドシグナルを明確にして示すこと。
- 9 ゲーム中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行う。コート内の選手で対処しきれない場合に備えて、控え選手もしくはその他の部員からクイックモップ（2名以内）を待機させることができる。
  - ①専門のクイックモップの場合は、記録席脇とベンチとアップゾーンの中間に位置し、競技役員であることから服装を選手と別のものとする。また、チームに関する一切はできない。
  - ②控え選手の場合は、ベンチから直接ワイピングし、ベンチに戻る。
- 10 各コートには、ウォームアップエリアを設ける。ただし、エリア内でのボールの使用は禁止する。
- 11 セット間は、試合中のチームのみフリーゾーンでのボールの使用を認める。隣のコートの妨げにならないように注意し、パス程度とする。

## 選手権大会の参加基準

本大会の男女各上位4チームは、岩手県中学校バレーボール選手権大会の出場権を得るものとする。

令和2年度 第1回岩手県中学校バレーボール選手権大会（概要）

期 日 令和3年3月20日（土）～21日（日）

会 場 花巻市総合体育館（男子3面 女子3面 計6面）

参加基準 男女各20チーム 計40チーム

（県新人大会ベスト4のチーム、各地区予選において出場権を得た16チーム）

※なお、新型コロナウイルス感染症の状況により大会の中止や規模の縮小など変更の可能性もある。